

平成 26 年度下期第 1 回サイエンスラボ結果報告

「小さな世界をのぞこう！～顕微鏡の使い方～」を実施しました。

開催日時：平成 26 年 11 月 9 日（日）13 時 00 分～15 時 00 分

開催場所：茨城県霞ヶ浦環境科学センター 研修室

参加者：14 名

雨が降り少し寒い日でしたが、本センターを会場に顕微鏡を使って、小さな世界の観察ができました。

お父さんお母さんも、顕微鏡の使い方を思い出しながら、時にはお子さんに教えながら、真剣な表情で挑戦していました。

動物プランクトンは元気に水中を泳ぎます。まず、スポットでつかまえるのに一苦労です。顕微鏡でのぞくと、ミジンコの心臓が動いている様子まで見えました。植物プランクトンはより小さな生き物です。倍率さらに大きくして観察し、写真を撮ることができました。

後半はさらにさまざまなサンプルを観察しました。双眼実体顕微鏡で観察すると、両目で立体的に見ることができるのです。センタービオトープの泥やアオミドロの中から、かくれていたヤゴが見つかりました。大迫力です。湖岸の石に付着した二枚貝の表面にはツリガネムシが見つかりました。

このころになると、もうみなさん夢中になって、さまざまなサンプルに挑戦しました。ススキの葉のふちにはトゲが見られます。こうなっているから手を切ってしまうんですね。

小さな生き物たちの、食べたり・食べられたりの世界を十分に堪能し、撮った写真は大切に持ち帰っていただきました。こうして第 1 回目のサイエンスラボは終了しました。

次回のサイエンスラボは、「化石の採取」をするために、バスで出かける予定です。興味をもったみなさん、一緒に地層を見に行きませんか？そして崖で化石を GET しませんか？まだまだ募集をしています。

ミジンコ見つけたよ。
さっそく写真をとります。
パチリ





ほら，ここだよ。
いったい何を見つけたの？

だんだん夢中になります。実体顕微鏡だと立体に見えるね。



石の表面にも生き物がありますので…
顕微鏡なら見えるかも。



←観察中の様子
全景です。